

グループホーム馬借

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		現状通り取り組んでいきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		現状通り取り組んでいきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		現在、資料の閲覧ファイルを玄関に用意しており、いつでも貸し出しできるようにしている。掲示や貸し出しをするだけでなく、積極的に言葉で伝え、理解を深めたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		現状通り取り組んでいきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		敬老会が地域で開催される予定なので、ぜひ参加したい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者様、ご家族に同意をとり、排尿ケアについての事例発表を地域の会合でおこなった。市や地域からの要望があれば、積極的に参加するようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果をミーティングで報告している。また、改善できるよう、対応している。		現状通り取り組んでいきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価結果を会議内で報告し、改善点についてアドバイスを頂き、それを基に改善へ取り組んでいる。		現状通り取り組んでいきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	研修の講師としてお招きしたり、外部評価を改善するためのアドバイスを頂きに行った。		現状通り取り組んでいきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員が研修に参加し、資料を回覧している。必要と思われる方には助言している。生活保護の方の場合は、ケースワーカーや関係機関に相談している。また、実際、成年後見制度を利用している方もおられる。		現状通り取り組んでいきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についての研修に参加し、資料を回覧している。日ごろから虐待を見過ごさないように注意している。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をとり説明している。家族から質問しやすいような雰囲気作りに努めている。		緊急時の対応についての指示書を家族から頂き、緊急時に備えるようにする。
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	話をしやすい雰囲気作りに努めており、直接ご意見を頂くことが多い。意見を聞き、迅速な対応に心がけている。		現状通り取り組んでいきたい。
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、「グループホーム便り」と「状態報告書」、「金銭管理報告書(領収書つき)」を家族に渡している。書類を渡す時に、暮らしぶりや健康状態など、家族が得たいと思われる情報を、口頭で状態報告書を用いて伝えている。また、行事をした時には、玄関に写真をはり、希望があれば現像している。職員移動については、来所時に話している。特変があった場		現状通り取り組んでいきたい。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所時は挨拶を必ず行う等、話をしやすい雰囲気作りに努めており、直接ご意見を頂くことが多い。また、入居費用の支払いの時に、「なにかありませんか」と聞くようにしている。玄関に意見箱を設置し、いつでも意見が投書できるようにしている。意見を聞いたときは、迅速な対応に心がけている。		現状通り取り組んでいきたい。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングや日常の中で責任者が意見や提案を聞き、運営者や管理者に相談し、反映させている。日ごろから職員とコミュニケーションをとり、問いかけたり、聞き出したりしている。		現状通り取り組んでいきたい。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日勤帯はできるだけ3人職員を配置し、柔軟に対応できるようにしている。また、行事の時や職員数が足りない時は、管理者や責任者が入り、利用者や家族の状態の変化や要望に答えることができるようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の配置換えはできるだけせずに、利用者にとってなじみのある職員配置を心がけている。新しく職員が入る時は、利用者へ紹介し、名札をつけるなど、利用者が混乱しないように配慮している。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の募集や採用にあたっては、年齢や性別で判断することなく、面接を行い、決定している。</p> <p>職員一人ひとりの持っている能力が十分発揮できるように責任者が配慮している。また、外部の研修には、できるだけ参加してもらい、研修のお知らせを掲示することで、社会参加や自己実現ができるよう配慮している。</p>		現状通り取り組んでいきたい。
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>外部の権利擁護や虐待などの研修に参加し、資料回覧や全体ミーティングで報告するなどして、職員に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>		現状通り取り組んでいきたい。
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>2ヶ月に1回、事業所内で研修を行っており、パート職員にも参加してもらい、質が保てるようにしている。また、日常の業務で、職員同士でお互い注意しあい学べるよう職員間のコミュニケーションがしやすい環境でいられるよう配慮している。外部の研修にいった職員には研修報告をしてもらい、全職員が周知できるようにしている。</p>		現状通り取り組んでいきたい。
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に入会しており、情報交換や研修に参加することにより、サービスの質の向上につなげている。</p>		現状通り取り組んでいきたい。
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>管理者や職員のストレスを解消する為に、話を聞いたり、食事会を開くなど、気分転換を図れる機会をつくっている。また、職員同士の人間関係を把握するよう努めている。</p>		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の心身の健康が第一と考えており、年に1回健康診断を行い、また、できるだけ話や悩みを聞くよう努め、仕事に影響がないようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学に来ることができる方には来ていただき、面接をし、心身の状態や、思いを聞くようにしている。見学にこれない方には職員が出向き、初期段階からの信頼関係の形成に力を入れている。		現状通り取り組んでいきたい。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接をした際に、不安なことやホームに求めていることなどを聞く機会を持ち、受け止め、答える努力をしている。		現状通り取り組んでいきたい。
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族のニーズにこたえることができるよう、同じ事業所内のCMやPTに相談し、対応している。		現状通り取り組んでいきたい。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学に来ることができる方には来ていただき、入院している方の場合は、病院へ、施設に入所している方の場合は施設へ職員が出向き、面接し、入居していただくようにしている。入居の話が早く進みすぎて、利用者が不安を感じていることがあるが、その時は、家族と職員で安心していただけるまでゆっくりと話をしている。また、職員の方向性をひとつにして場の雰囲気になじめるようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人とのコミュニケーションを大切にし、相手の立場に立って考え、本人に対して傾聴し、尊敬と感謝の心で接している。また、本人の得意とされることを職員に教えていただけるような場面作りを行い、よい関係作りに努めている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事やレクリエーションなど、家族と共に楽しく過ごす時間を作り、良い関係作りに努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	毎月のグループホーム新聞に加え、日常生活の状態報告書を家族に渡し、日常の生活を知ってもらうよう努めている。また、暑中お見舞いや年賀状をだし、家族間の絆がなくなるないように支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	もともとホームの近所に住んでいた方が多く、近所の市場やホームの周りに顔なじみの方が多いため、関係が途切れないよう、定期的に散歩や買い物に行き支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	状況を見て職員が間に入り、会話を盛り上げ、笑顔を大切に接し、楽しくマイペースな生活が送れるように努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	近所で会ったら話しかけ、様子を伺って気遣い、関係がなくなるないように大切にしている。また、在宅復帰されても、再度居室に空きがあれば入居できることを伝え、空きがない場合でも、状況に応じて相談を受け付け、本人・家族が満足したサービスが継続できるように支援することを伝えている。		現状通り取り組んでいきたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時にケアマネジャーがアセスメントを行い、希望や意向の全体像をつかみ、詳しく知る為に、職員全員で、日々の関わりの中で、声かけ・把握に努めている。また、ユニットごとに毎月ケース会議を行い、希望・要望を全員で把握するように努めている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネジャーが入居時にアセスメントし、詳しく知る為に、職員全員で、日常生活内で声かけ・把握に努めている。また、毎月ユニットごとにケース会議を行い、全員で把握できるように努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ユニットミーティングにて、残存機能を活かしてなにができるかを話し合っている。		現状通り取り組んでいきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ミーティング前に家族より話を聞き、ミーティングにてモニタリングを行っている。モニタリングを踏まえ、計画作成担当者が介護計画を作成している。		現状通り取り組んでいきたい。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回モニタリングを行い、短期目標が達成できているか確認している。達成された場合は、新たに目標をたてて新しく計画を作成している。		現状通り取り組んでいきたい。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録にその日の状態がわかるように毎日記入している。		現状通り取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医院、デイケア、介護支援センターが併設しており、本人や家族の要望に応じて、相談し支援している。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現状維持を望まれる方が多く、要望にこたえるため、訪問マッサージやリハビリを受けておられる方が多い。運営推進会議に毎回民生委員の方に参加していただき、意見交換をしている。		現状通り取り組んでいきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者や家族から要望があった場合は、同事業所のケアマネジャーに相談し、社会資源を探すようにしている。また、現状維持を望まれる方が多く、訪問マッサージやリハビリを受けておられる方が多い。		現状通り取り組んでいきたい。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの方に、運営推進会議に参加していただくようになり、利用者の総合的なケアについて相談できるようになった。実際、排泄ケアで相談し、改善した例もある。その事例を包括からの依頼で、地域の会合で発表した。		現状通り取り組んでいきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々の状態を把握し、状態に変化があれば本人・家族に連絡し、かかりつけ医を受診する。その後、状態を把握した上で、家族と話し合い、病状にあった病院を紹介してもらい受診するようにしている。受診は基本的には家族にってもらおうが、困難な場合は、職員が代行もしくは同行している。		現状通り取り組んでいきたい。
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日々の生活を基に、変化に敏感に反応し、少しでもおかしいと思ったときは、併設の医院の院長に相談し、助言を受けている。		現状通り取り組んでいきたい。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームや併設医院の看護師と一緒に、利用者の日常の状態把握を行い、医学的視点から見た助言をもらっている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した時は、病院の医師や看護師、ソーシャルワーカーと連携し、状態把握に努め、できるだけ早く退院できるようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方について職員間で話し合い、指定書を作成した。今後は、指定書を家族に記入していただき、個別に方針をたて、全員で方針を共有していく。		現状通り取り組んでいきたい。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期について関係者間で協議している。指定書を作成し、家族に記入していただく予定。できる限り、本人や家族の意向を尊重していきたい。しかし、医院が併設しているが、24時間医療スタッフが常駐していないし、ハード面においても終末期を迎え入れることができるような環境が整っていない為、現段階では、医療行為が必要になった場合の入居は難しい。		現状通り取り組んでいきたい。
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所に移られたり、入院したりする場合は、アセスメントやケアプランを渡すようにしている。自宅に帰る、外泊するときは、薬の内服の支持や現在の日中・夜間の状態について報告し、注意点を家族に伝えている。		現状通り取り組んでいきたい。
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に利用者に対しては尊厳を持って接しており、利用者のプライドやプライバシーを損ねないように、職員1人1人が注意している。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	どこかに出かける時や、決め事があるときは、必ず本人の思いや希望があらわせるように会話で働きかけ、本人の決定で支障がある場合は傷つけないように納得できるように説明している。		現状通り取り組んでいきたい。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の職員の人数で異なる。大まかな一日の流れはあるが、個別に買い物や散歩に行くなど、柔軟に対応できるように配慮している。		現状通り取り組んでいきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎朝、髪をセットしている。外出時には、一緒に洋服を選び、女性であればお化粧をする等おしゃれをしている。男性は、毎日の髭剃りに努めている。利用者の身だしなみには気をつけている。実際、利用者の中には満面の笑みを浮かべたり、鏡の前に立つことが多くなった。		現状通り取り組んでいきたい。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の片付けを一緒にしている。食事は調理師が作っているが、手作りおやつを一緒に作ることもあり、特に女性の利用者に限っては、張り切って参加している。		現状通り取り組んでいきたい。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の様子や時間をみながら、楽しめるように支援している。しかし、持病を持つての方の場合は、医師の指示の元できるだけ楽しんでいただけるように支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿・便チェック表を利用し、排泄パターンの把握に努めている。時間ごとのトイレの声かけとは別に、本人の訴えも大切にし、できるだけトイレでの排泄ができるよう支援している。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は決まっているが、時間は体調や他入居者との兼ね合いもあり、職員が決めている。同性の職員でない利用者には、入浴を同性職員と一緒に入浴していただいている		職員の配置数の関係上、ホームの都合で入浴していただいている。できるだけ、利用者の都合にあわせられるように努めていきたい。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に応じた室温調整や、寝具の清潔に勤めるとともに一人ひとりの希望や体調に応じて昼寝してもらったり、居室で休息していただいている。昼間寝ると夜間眠れない利用者ではできるだけ日中に体を動かしていただき、夜間ゆっくり安眠できるように支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個別に楽しみが持てるように散歩や買い物を通じて気晴らしの支援をしていただいている。また、生活歴を把握し、本人にあった役割を探せるようミーティングなどで話し合い、実行している。		現状通り取り組んでいきたい。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを預かっており、外出した時には自由に使っていただけよう声かけしている。		現状通り取り組んでいきたい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の様子を見て、声かけし、できるだけ要望にこたえることができるよう支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月の行事で、普段散歩ではいけない所に外出している。また、ご家族にも声かけし、自由に参加していただいている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に使ってもらっている。自分で電話をかけることができない利用者には、職員が介助している。暑中見舞いや年賀状を書き送付している。		現状通り取り組んでいきたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問できるグループホームを目指しており、玄関前に花を植えあかるくしたり、いつも笑顔でまた、歓迎の心で挨拶したりと、気軽に訪問していただけるように職員一同工夫している。		現状通り取り組んでいきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	病院受診や福祉用具を利用し、試行錯誤しながら、身体拘束をしないケアを行っている。		現状通り取り組んでいきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者が外出する時は声をかけ、職員と一緒に歩いていくようにしている。しかし、職員が同行するのを拒否するかたもおられるため、警察や民生委員に協力していただき、できるだけ自由に外出ができるように配慮している。		現状通り取り組んでいきたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	転倒の危険性が高いかたが多い為、職員が1人必ず利用者の様子を見ておくようにしている。夜間は基本的に3時間おきに巡視しているが、起きてこられたときにすぐに対応できるようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要な物品に関しては、置く場所を決めており、また、各利用者担当の職員が環境整備を一緒に行い、安全に過ごすことができるように一人ひとりのレベルにあわせて危険を取り除いている。		現状通り取り組んでいきたい。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者一人ひとりの事故のリスクについて、それぞれ専門職から助言をもらい、ケアの方法について学んでいる。ヒヤリハットを記入し回覧している。事故を未然に防ぐことができるように見守りの徹底など工夫している。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	火災訓練は定期的に行っているが、応急手当や急変などについての初期対応の定期的な訓練はない。		火災訓練時に急変時や応急処置について訓練を行うよう検討していきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を行い、その都度設定を変え、昼夜を問わず利用者が避難できるよう方法を考え、実施している。また、設備や避難経路の点検を定期的に行っている。		消防署に声かけし、救急処置やAEDの使い方の講習会を開いていただけるよう検討している。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族が面会に来た時に昼夜の状態を話し、起こりうるリスクについても話をしている。リスクに対する対応については、家族にも相談し、利用者自身に圧迫感のない生活をしていただいている。		現状通り取り組んでいきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期発見できるように、日々の状態把握に努め、体調の変化を発見した時には、併設医院院長もしくは、かかりつけ医に相談し、対応していただいている。		現状通り取り組んでいきたい。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の個人カルテに病院からの薬剤情報はさみ、情報を共有している。服薬時は手渡しし、内服するまでそばにるように徹底している。		現状通り取り組んでいきたい。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防と、運動能力の維持を兼ね、毎日身体を動かすよう、毎朝体操したり、便秘解消に良いとされる食材でジュースを作り、おやつにだしている。排便チェックをしており、便秘がちな利用者は院長と相談し、薬を処方していただいている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1日3回毎食後口腔ケアを行っている。利用者の能力に応じて介助している。		現状通り取り組んでいきたい。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量をその都度チェック表に記録し、職員全体で把握している。		現状通り取り組んでいきたい。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルをつくり、手洗い、うがいに注意し実行している。また、トイレや手洗い場に手洗いの方法や汚染したときの対処法をいつでも目につく所に貼っている。感染予防のため、全館ペーパータオルを使用している。		現状通り取り組んでいきたい。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理師が出勤前にその日に必要な食材を買ってきてその日のうちに使っている。まな板や布巾、水回り、コンロ、換気扇の清潔・衛生を保つよう、職員間で取り決めを行い保持している。		現状通り取り組んでいきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先に花を植え、かわいい表札を作り、親しみやすい雰囲気作りに努めている。花を植えたり、表札をつけることで、それが目印になり、利用者にとって家がわかりやすくなった。安心して外出できるよう、玄関には鍵をかけていない。		現状通り取り組んでいきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとってなじみやすい音楽や、心地よい照明、室温に配慮している。生活感、観葉植物や家具、飾りつけなどのインテリアにて工夫している。季節感同様で、インテリアにて感じていただき、また、菖蒲湯や節分、クリスマス、花見などイベントでも感じていただけるようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間に、ダイニングテーブルやソファがあり、それぞれ思うがままに生活していただいている。		現状通り取り組んでいきたい。
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好きなもの(写真や小物)、入居前に使っていた収納家具、布団などを持ってきていただき、落ち着いて居心地良く過ごしていただけるように工夫している。		現状通り取り組んでいきたい。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は頻繁に行っている。また、温度や湿度に配慮し、利用者の状態をみながら調整を行っている。ポータブルトイレを使用している方もおられるので、悪臭が出ないよう頻繁に掃除している。		現状通り取り組んでいきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者の居室の場所を状態に合わせ、自立した生活が送れるように考えている。家具の配置にも配慮し、安心して生活が送れるよう工夫している。また、利用者の状態に応じて移動の手段として車椅子を取り入れている。浴室やトイレに手すりをつけ、できるだけ自立した生活を送ることができるよう配慮している。		現状通り取り組んでいきたい。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や失敗が生じた場合は、その状態に応じて、声かけや傷つけないような配慮をしている。また、状況に応じて環境整備も行っている。		現状通り取り組んでいきたい。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先でガーデニングをしたり、夏にはそうめん流しや花火をして楽しんでいる。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある (スタッフによる)	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが (スタッフによる)	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム馬借

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎月行事を行っている。
- ・時間がある時は、買い物や散歩など、利用者のニーズに沿った対応を心がけている。
- ・日中、笑いができるようスタッフー同心がけている。
- ・スキルアップを心がけ、研修に参加するようにしている。
- ・医院が併設しているため、医療・福祉・悔悟の連携がとれている。